平成 23 年度　第１回浦安市市民活動補助金審査会　会議要旨

１．開催日時：平成 24 年１月 23 日（月）17 時 30 分～20 時 00 分

２．開催場所：浦安市市民活動センター２階会議室

３．出席者　：15名
（委　員）宮奈会長、山西委員、大黒委員、尾崎委員、笹本委員、江澤委員、
山口委員、山本委員
（事務局）中山公室長、金子次長、永井課長、村田主幹、溝上係長、湊、中尾

４．配付資料
（１）採点基準・採点表
（２）第２回審査会の流れ

５．会議次第
（１）平成 24 年度補助金申請事業審査方法について
（２）平成 24 年度補助金申請事業の概要について

６．会議の概要
（１）平成 24 年度補助金申請事業審査方法について
事務局からの説明
・自立促進事業補助金（はじめの一歩）について 11 件、活性化事業補助金（ステップアップ）について 12 件、計 23 件の申請があった。過去最多件数である平成 15 年の申請件数計 15 件を上回る結果となった。

・補助金申請手続きのスケジュールは例年よりも１カ月募集を早め、採択結果の通知も２月上旬に送付できるようにした。

・第１回審査会の進行について

・採点基準と採点表について

・第２回審査会の流れについて

（２）平成 24 年度補助金申請事業の概要について
・事務局から各団体の概要を説明。各事業の課題・留意事項について話し合った。
会議で出された各事業の課題・留意事項は以下のとおり。

■自立促進事業補助金【はじめの一歩】
①団体名：“楽ねっと”
事業名：ネットで楽しむシニア生活-シニア向けパソコンクラブ
会員募集をすると記載はあるが、事業計画・予算・講習計画を見ると、会員８名とされていて、対象の広がりが読み取りにくい。事業を継続していく上で、担い手と受講者をどう拡充していくのか見えにくい。

②団体名：ＮＰＯ法人　歌のボランティア・いちかわシャンテ浦安支部
事業名：施設利用者と共に歌おう！～唱歌ボランティア活動促進事業

・当団体は、ＮＰＯ法人歌のボランティア・いちかわシャンテの設立趣旨に賛同し、浦安市で結成された２団体を浦安支部に位置づけているため、いちかわシャンテのものを団体の規約に位置付けている。
・講座開催による人材育成と活動の場づくりをどのように展開していくのか。

③団体名：家族・子育て相談室「ゆずり葉」
事業名：子育て支援ワークショップ開催事業
・当団体は、すでに活動の中でワークショップをしている。また、参考資料では、「学校に行きたがらない子への理解と対応」シリーズを補助対象事業と示している。今回の補助事業の目的と効果を団体の活動の中でどのように考えているのか。
・継続的な会の運営のために自主財源が必要だが、事業計画からは自主財源が見えない。

④団体名：舞フレンド
事業名：舞浜２丁目ローズタウン在住者
・申請事業の内容は自治会活動の範囲内で行えるもののように見えるが、自治会と違う組織を立ち上げた理由は何か。
・自治会や老人クラブ、婦人会など既存の地域団体との連携を行う考えはあるのか。

⑤団体名：浦安ベーゴマクラブ
事業名：ベーゴマ遊びの体験
・現在の活動及び目標と今回の補助事業で行う内容の主な違いは何か。
・現在の活動でも、公民館における教室、大会、小学校訪問、全国大会参加などを行っている。今回の事業において特に取り組むものは何か。
・趣味的なサークルとどう違うか。他の伝統遊びへの広がりは考えているのか。

⑥団体名：キラキラ応援隊
事業名：高齢者在宅療養に関わる各種サポート
・活動をどのように展開していくのか。目指すものは何か。

⑦団体名：じぃじぃクッキング
事業名：男性高齢者のための調理実習及びそれによる仲間作り
・不特定多数の男性高齢者に参加の機会を提供するためにどのように展開していくのか。
・今後、地域包括支援センター主催「男性のためのクッキングひろば」を受講した高齢者や、地域の高齢者にどのように貢献していく考えか。

⑧団体名：インターネットラジオ　ちょあへよ．Ｃｏｍ
事業名：地域活動紹介ラジオ番組制作事業
・ネットラジオの普及の程度、普及の展望は。
・リスナーはどの程度いるのか。
・震災時に震災関連の情報発信を行った。今後も、災害時にはこの環境を活かして情報発信するのか。

⑨団体名：うらやす景観まちづくりフォーラム
事業名：浦安景観資源リストの活用方法を探る
・景観資源リストとはどのようなものか。
・活用方法を検討するということだが、具体的にはどのような活用方法が考えられるか。
・他団体との連携は具体的にどのように考えているのか。
・リーフレットの活用方法
・景観のまちづくりをどのように進めていきたいか。

⑩団体名：特定非営利活動法人　日本クリエィティブ・セラピスト協会
事業名：アートでメンタル・トリートメントしませんか（クリエイティブ・セラピー普及事業）
・どの程度のニーズがあると考えられるか。
・セラピーの効果はどの程度あるのか。
・25 年度以降も市内でどのように展開していきたいと考えているのか。

⑪団体名：特定非営利活動法人　市民後見センターちば
事業名：市民後見人養成基礎講座（浦安）
・受講生 100 名に対して受任者はどのくらい見込んでいるのか。
・講座のカリキュラムの概要とＰＲ方法
・この事業の対象は。
・この事業によってどのように展開していこうと考えているのか。

■活性化事業補助金【ステップアップ】
①団体名：海・まち・デザイン
事業名：境川いきいき大作戦　ＰＡＲＴ４
・これまで３回実施した上での効果。
・他団体との連携が広がっているようだが、水辺の会など他の団体との連携拡充はどのように考えているのか。
・今年度予算の収入の半分を補助金(50 万円）が占めているが、再来年度以降自立するために事業収入の確保、あるいは支出をどうする考えか。

②団体名：浦安おはなしの会
事業名：子どもと本をつなぐために！
・選書において大事な視点は何か。
・対象をどのようにこの講座に参加してもらおうとしているのか。
・受講した後の効果はどのようにはかられるのか。

③団体名：科学クラブ
事業名：子どもに渡そう！科学やノンフィクションの面白さを！
・震災と自然体験を学ぶことの関連性
・各講座で学んだことを対象（大人）はどのように今後に活かすのか。
・今回学んだことを科学クラブの講座にどのように生かすのか。
・講座と科学クラブの事業とのすみわけ。

④団体名：ガーデンシティうらやすの会
事業名：『うらやす花めぐり』事業
・事業収入として冊子販売価格が 1 冊 100 円だが、200 円くらいまで上げられないのか。
・冊子の作成目的、活用方法、効果は。

⑤団体名：浦安科学工作クラブ
事業名：うらやすサイエンス・カフェ事業
・23 年度の講座をとおして担い手は増えているようだが、どの程度、今回の事業の担い手となるのか。
・今回の事業で担い手はさらにどのくらい増えそうか。
・自治会集会所などの開催場所や連携する団体をどのように選定・調整していくのか。
・連携する団体には他の科学系の団体も考えているのか。

⑥団体名：アスペルガーの自分取扱説明書
事業名：アスペルガー障害（発達障害の一種）の困難緩和を目指すコミュニケーション力向上セミナーの開催及びその進行役養成
・ワークショップの具体的な内容とその効果。
・来年度のワークショップにおけるファシリティテーターは誰が行うのか。自分たちでできる人はいないのか。
・養成講座を受けるとファシリティーターになることができ、25 年度以降は自らワークショップを運営できるようになるのか。

⑦団体名：浦安水辺の会
事業名：「ミニカフェテラス in 境川」－地域連携で継続的な水辺の活用
・今後、継続的に事業を展開するのであれば、補助金に頼らない運営を目指していかなければならないが、今後、自立して運営をするようになるための事業展開はどのように考えているのか。
・Ｅボートのインストラクターに対する謝礼が計上されているが、自分の団体でできないか。また、育成する考えはないか。
・出店料 1000 円は妥当なのか。もう少し上げられないのか。
・海まちデザインなども事業を行うが、連携はどのように考えているのか。

⑧団体名：浦安ドキュメンタリーオフィス
事業名：うらやすドキュメンタリー映画祭 2012 事業
・身近な社会問題のテーマを具体化する考えはないか。(例：１日毎に、高齢者の介護、子育て、女性、人権などテーマを絞る。テーマも関係機関・団体と考え、そのテーマに沿った映画を上映し、その後でシンポジウムや話し合う場などを作り、みんなで考えるなど)
・自立に向けての事業展開はどう考えているのか。

⑨団体名：特定非営利活動法人　ｉ－ｎｅｔ
事業名：幸せな『子育てのスタート応援』事業
・ニーズはどの程度あるのか。(より具体的に)
・事業を始めた後の展開は。

⑩団体名：NP0 法人　浦安防犯ネット（ＵＢＮ）
事業名：セーフコミュニティまちづくり 2012
・セーフコミュニティのまち・リーダーとは何か。
・この取り組みをするためのニーズや目指すものは何か。
・リーダー養成講座の対象・講座の内容・修了生の活動の展開は。
・コンサートは仮に市からの後援がなくてもコンサートはやるのか。
・コンサート自体は活性化補助金事業としては４回目になるので、今回は対象にならない。これを対象経費から除いた場合、残りの事業を補助事業として行う考えはあるか。

⑪団体名：浦安未来２０５０
事業名：海辺のライブラリー　Part2
・事業内容は 23 年度とさほど変わらないように見える。どこがステップアップしているのか。
・予算の中に運営経費が比重を占めているが、補助金交付終了後、自主的に運営するためにどのようなことを考えているのか。

⑫団体名：高洲小よみきかせサークル　ルフラン
事業名：よみきかせ子育て支援事業〝子どもも大人もみんなで育とう〟part2
・現在行っているよみきかせや器楽演奏における課題は何か。
・講習の具体的内容は。（目的、対象、内容）
・どの程度メンバー以外の参加を見込んでいるのか。また担い手の拡充にもつながるのか。